

マーケットの動き（2024年3月25日～3月29日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は米国株安や円安の一服感などから株価は下落しました。権利付き売買最終日の27日には配当取りを意識した買いが強まり、史上最高値（4万0888円）を上回る4万0979円まで上昇する場面がありましたが、その後は年金勢など国内機関投資家による保有資産の調整や高値警戒感などから売り圧力が強まり、権利落ちもあって前週末比では下落した水準で取引を終えました。

投資環境見通し（2024年3月）

国内株式相場はレンジ内での動き

企業業績については、想定為替レートを大幅に上回る円安水準が輸出企業にとってプラスとみられることに加えて、半導体サイクルの底打ち、訪日外国人観光客による旺盛な消費需要などを背景に、底堅く推移するとみています。国内株式相場は、世界的にみて国内の金融環境が緩和的であることに加えて、景気対策や企業の資本効率改善に向けた取組みなど、固有の好材料はありますが、短期的には業績の先行きに対する高い期待が織り込まれたとみられることもあり、上昇一巡後はレンジ内での動きになるとみています。

	3月29日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,768.62	▲1.59%	3.47%	19.16%	38.74%
日経平均株価	40,369.44	▲1.27%	3.07%	26.72%	44.78%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

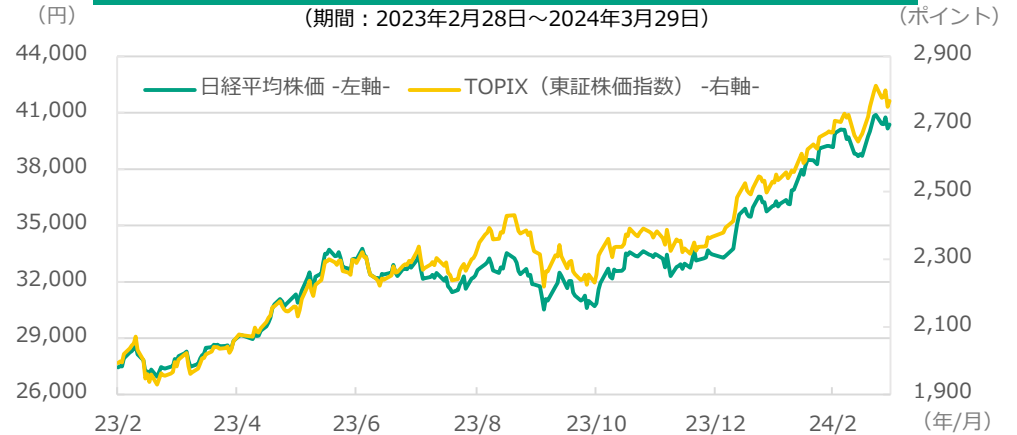
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202403_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

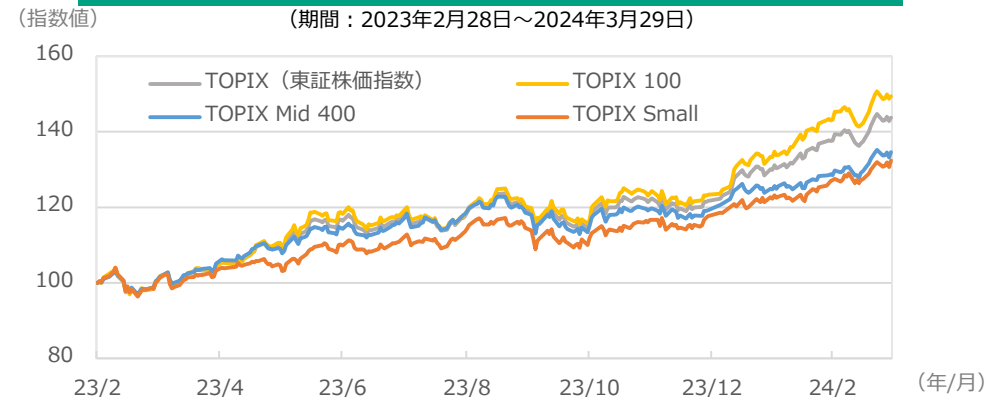
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月29日）



TOPIX規模別指数の推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月29日）



※2023年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成